

平成29年度

事業計画書



公益財団法人足立区生涯学習振興公社

目 次

| | |
|-----------------|----|
| 経営方針 | 1 |
| 平成 29 年度事業計画の概要 | 2 |
| 定款事業別体系図 | 4 |
| 事業区分別事業計画 | 5 |
| 公社概要 | 14 |
| 組織図 | 14 |

経営方針

公益財団法人足立区生涯学習振興公社（以下、公社）は、区民に学習、スポーツ及び文化活動の機会を提供するとともに、人材の育成や自主活動を支援する事業を行うことで生涯学習を推進し、「生き生きとした地域社会の創造」に寄与することを目的としている。

区は、平成28年10月策定の基本構想において、区のめざすべき将来像を「協創力のできる活力にあふれ進化し続けるひと・まち足立」と掲げた。また、平成28年2月策定の教育大綱では「夢や希望を信じて生き抜く人づくり」を基本理念とし、成人期の学びについて「自ら学ぶとともにその経験を社会に還元する意欲を育てる」としている。

公社はこれまでも、区民との協働による事業や学びの成果を地域に還元する事業を展開してきた。今後は、これらをさらに進化させ、「区民・地域・団体等との協創」により生涯学習を推進していく。子どもたちが多様な体験をする「あだち放課後子ども教室」は、児童期の生涯学習の場であるとともに、それを支える多くの大人の生涯学習の場でもあることから、引き続き中核事業として運営支援に取り組む。学習・スポーツ・文化については、区民の主体的な生涯学習を促すための人材育成及び活動支援事業を中心に展開し、活力ある地域活動につなげていく。

平成29年度の事業計画及び予算編成にあたっては、平成27年度に策定した「公社中期事業計画」に基づき、今後の公社職員の減員と自主財源の減少を見据え、事業の重点化と効率化を徹底して実施効果を上げ、区民サービスの向上に努める。

重点事項

1 あだち放課後子ども教室の安定運営及び活動の充実に取り組む。

全校での週5日開催を安定的に継続するとともに、全学年実施校の拡大に向け、運営支援と課題解決に努める。

また、「足立区放課後子ども総合プラン」を踏まえ、体験プログラムの充実及び学童保育室との連携強化に取り組む。体験プログラムの実施にあたっては、区民や団体等との協創を進め、より魅力的な活動の場への発展をめざす。

2 学習・スポーツ・文化の人材育成及び活動支援に取り組む。

地域での主体的な活動を促すための人材育成及び活動支援事業を中心に取り組むことで、学習・スポーツ・文化活動における協創力を高め、子どもから高齢者まで多くの区民への生涯学習機会の提供につなげていく。

学習・スポーツ面では、区民が学んだ成果を各々の地域や放課後子ども教室などの場で還元して様々な体験機会が広がるように、その活動を継続的に支援する。また、文化面では、“ネットワーク”と“アウトリーチ”をキーワードに、新たな文化を創造しようとする区民やアーティスト等を緩やかにつなぎ、多様な文化活動の創出を図る。

3 公益財団法人として、法令等に基づく適正な法人運営を行う。

平成 29 年度 事業計画の概要

1 あだち放課後子ども教室支援事業

(1) 運営支援

あだち放課後子ども教室は、平成 19 年度のモデル校 6 校から始まり、平成 22 年度に全校開設となり、現在はほぼ全校で週 5 日開催されている。公社は、各校の放課後子ども教室を安定的に継続するため、定期的な巡回に加え、課題解決や事故・トラブルの対応、学校との連絡調整や運営事務、各種会議や研修会実施などの支援を行っている。こうした支援を継続するとともに、平成 28 年度に示した「放課後子ども教室運営マニュアル」を基に、運営事務の効率化と全校の平準化を進めていく。

(2) 全学年実施校の拡大

平成 28 年度末、全学年実施校が 60 校となり、低学年の未実施校は 9 校となった。安全管理体制の整備や活動場所の調整など各放課後子ども教室の課題について、実行委員会及び学校と協議し、全学年実施校の拡大に取り組んでいく。

(3) 体験プログラムの充実及び学童保育室との連携強化

「足立区放課後子ども総合プラン」*を踏まえ、体験プログラムの充実及び学童保育室との連携強化に取り組む。

あだち放課後子ども教室における体験プログラムを『放課後+One（プラスワン）』と称し、実施校の拡大と活動内容の充実をめざしていく。各校の実行委員会が実施するプログラムの支援に加え、公社人材育成事業の修了者を活用するプログラムや企業・NPO 団体等との連携によるプログラムを実施する。中でも運動プログラムは、楽しみながら体を動かす“運動あそび”の紹介や、スムーズな体の動きを引き出す“運動遊具”の導入など、子どもの体力・運動能力の向上につなげていく。

また、学童保育室との連携については、同一の小中学校内（隣接含む）にある学童保育室に学校を加えた「情報連絡会」の実施を支援し、相互理解や情報共有を通じて、両事業の円滑な運営と体験プログラムへの参加促進を図る。

(4) 広報活動

公社ニュース「ときめき」及び公社ホームページにおいて、事業の趣旨や活動内容を紹介し、広く区民に周知する。加えて、新入学児童と低学年の保護者に配る「小学生のための放課後すごし方ガイド」や、放課後子ども教室への登録申込み時に配布する「あだち放課後子ども教室利用案内」を通じて、保護者の理解を深めていく。

また、スタッフや体験プログラムのボランティアを確保するため、人材募集に関する記事の「ときめき」等への掲載や「募集案内」の作成を行う。

*「足立区放課後子ども総合プラン」：文部科学省と厚生労働省が平成 26 年度に発表した「放課後子ども総合プラン」を受け、区が平成 27 年度に策定。あだち放課後子ども教室及び学童保育事業の計画的な整備を進めることとしており、あだち放課後子ども教室については、全学年実施校の拡大、体験プログラムの充実、校内（隣接含む）にある学童保育室との連携などをめざす計画。

2 学習・スポーツ事業

(1) 生涯学習機会の提供

「こどもサポーター養成講座」の修了者を実践者として活用する「読み語りキャラバンによるお話し会」や「地域人材活用による体験プログラム」などを展開し、多くの区民に学習機会を提供する。

(2) 地域人材の育成

「こどもサポーター養成講座」では、活動に直結する実践的な学習機会を提供するとともに、学んだ成果を地域で活かすように促す。さらに、地域活動を継続するため、「フォロー講座」や「ネットワーク支援」などを行い、区民の学習・スポーツ活動の拡充につなげていく。

(3) 地域学習の支援

健康づくりやスポーツ活動について学ぶ「あだちウエルネスカレッジ」や「スポーツコンディショニング講座」、子どもを取り巻く課題や発達段階の特性などを学ぶ「子ども学講座」など、区民にとって身近なテーマを設定し、学習活動を支援する。

(4) 体力向上支援人材育成

「スポーツ指導者スキルアップ講習会」では、楽しく体を動かしながらスムーズな動きを身に付ける“運動あそび”に着目し、その効果についての理解を深め、子どもや高齢者の体力・運動機能を向上するプログラム展開ができる指導者の育成を図る。

3 文化事業

(1) 生涯学習の機会提供と生涯学習啓発

区内4つの民間文化施設と連携して各会場でコンサート等を行う「コンサート in ミュージアム」や、「あだちアートリンクカフェ」で出会ったアーティスト同士の新たなネットワークを活用して実施する「あだちアートリンクカフェ・フェスティバル」を通して、多くの区民が身近な場所で文化芸術に触れる機会を提供する。また、「小学校アウトリーチコンサート」は、プロの演奏家が小学校に訪問し、児童が間近で本物の芸術を体験する機会を提供する。

(2) 地域人材の育成

演奏家等がアウトリーチスキルを習得する「実践！音楽アウトリーチ講座」や、アートをキーワードとしてジャンルや立場を越えた参加者相互の交流により新たな区民文化の創出をめざす「あだちアートリンクカフェ」を通じて、地域での主体的な活動を促し、区民の文化活動の拡充につなげていく。

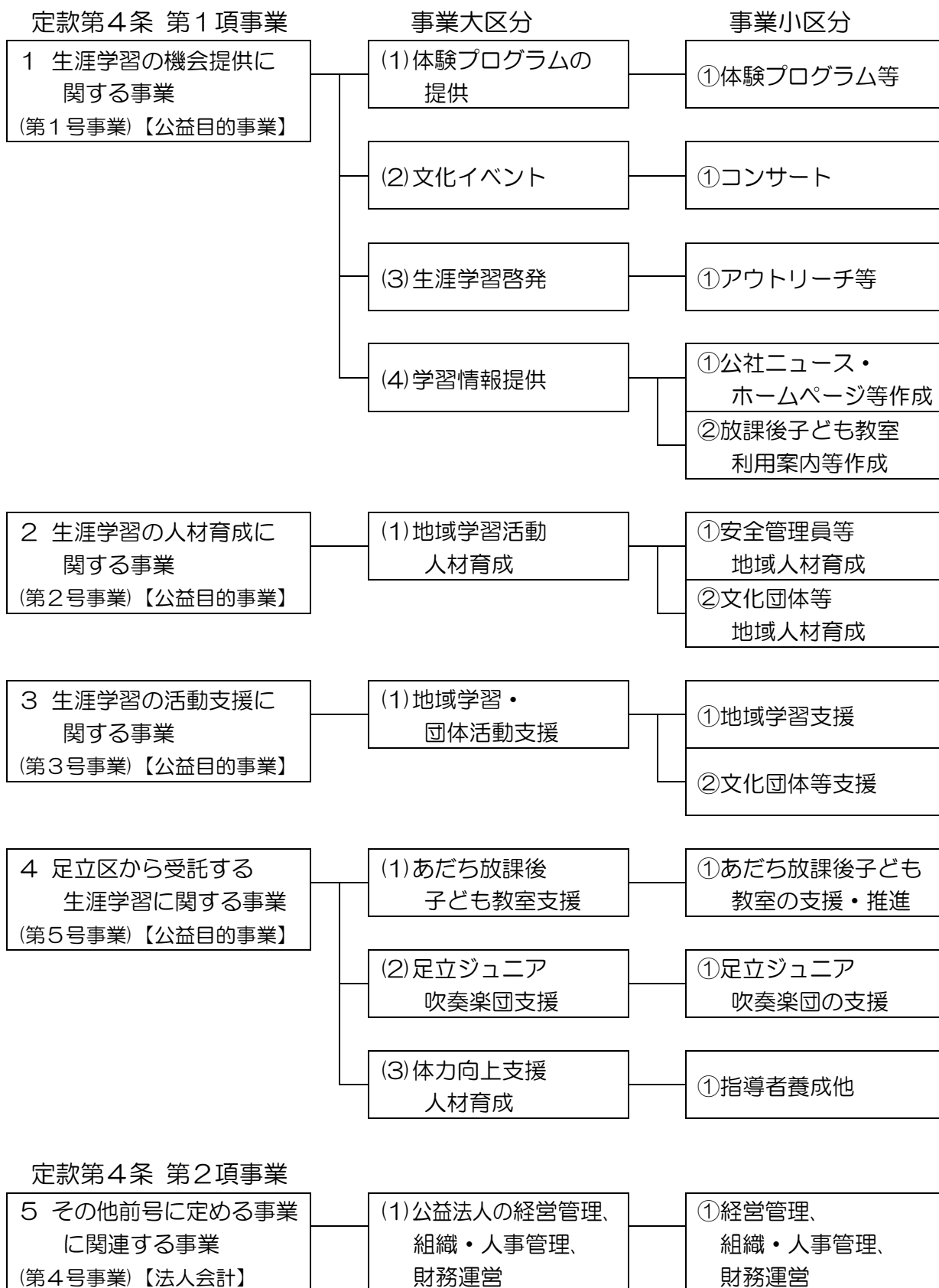
(3) 文化団体等の活動支援

文化団体が実施する事業への共催や、区民によるイベント実施に関する助言などの活動支援を行うことにより、地域の文化活動の活性化を図る。

(4) 足立ジュニア吹奏楽団の支援

定期練習、地域への派遣演奏やイベント出演など演奏活動や運営全般の支援を行い、音楽を愛好する情操豊かな児童の育成を図る。また、団員の保護者で組織する「友の会」の運営について助言し、今後の自主的で持続可能な組織体制の構築をめざす。

平成29年度 定款事業別体系図



事業区分別事業計画

1 生涯学習の機会提供に関する事業

(定款第4条第1項第1号事業)【公益目的事業】

| | | | | |
|----------------|--|---------|--------|--------|
| (1) 体験プログラムの提供 | | 当初予算額 | | |
| | | 1,624千円 | | |
| 目的及び概要 | <p>公社事業で発掘・育成した地域人材を活用し、子どもや親子への体験プログラムを提供する。毎年開催している「あだち子どもサポーター養成講座」の修了生を実践者として、読み語りキャラバンや、放課後子ども教室での「キッズおりがみ教室」を展開する。</p> <p>さらに、「足立区放課後子ども総合プラン」に基づき、企業やNPO団体との連携や、公社が企画するプログラムの紹介などを行い、『放課後+One』*の実施校の拡大と活動内容の充実を図る。中でも運動プログラムは、楽しみながら体を動かす“運動あそび”の紹介や、スムーズな体の動きを引き出す“運動遊具”の導入など、子どもの体力・運動能力の向上につなげていく。</p> | | | |
| | 平成29年度の予定 | | | |
| | 内 容 | 実施時期 | 実施回数・校 | 実施場所 |
| | 【1】読み語りキャラバンによるお話し会 | 6～2月 | 5回 | 地域図書館等 |
| | 【2】『放課後+One』の推進 | | | |
| | (1)地域人材活用による体験プログラム (おりがみ、読書支援など) | 通年 | 24校 | 区内各小学校 |
| | (2)団体連携による体験プログラム (工作、将棋、楽器体験など) | 通年 | 10校 | 区内各小学校 |
| | (3)公社企画による体験プログラム (スポーツスタッキング*、ラッキーパズル*など) | 通年 | 随時 | 区内各小学校 |

*『放課後+One (プラスワン)』: あだち放課後子ども教室における体験プログラム

*スポーツスタッキング: 数個のカップを積み上げて、元に戻すスピードを競う競技

*ラッキーパズル: 数種類の木片を組み合わせて様々な形をつくる木製のパズル

| | | | | |
|------------|---|----------------------|-----------------------|--|
| (2) 文化イベント | | 当初予算額 | | |
| | | 2,128 千円 | | |
| 目的及び 概要 | <p>区民が、身近な場所で文化芸術に触れることにより地域への愛着心や誇りを持ち、文化芸術の薫り高い地域社会を実現するために、文化イベントの機会を提供する。</p> <p>「あだちアートリンク*カフェ・フェスティバル」は、人材育成事業の「あだちアートリンクカフェ」で出会ったアーティスト等による新たなネットワークを活用し、その成果を区民に発表することを目的に実施する。コンサートを中心に、ロビーでは作品展示やパフォーマンスなどを行い、会場全体がアートに包まれる場を創出する。</p> <p>「コンサートinミュージアム」は、区内4つの民間文化施設が連携して、コンサートなどの催し物を実施する。各施設が相互に協力して地域文化資源の存在をPRするとともに、質の高い文化芸術を発信する。</p> | | | |
| | 平成 29 年度の予定 | | | |
| | 内 容 | 実施時期 | 実施回数 | 実施場所 |
| | <p>【1】あだちアートリンクカフェ・フェスティバル</p> <p>【2】コンサート in ミュージアム</p> | <p>6 月</p> <p>通年</p> | <p>1 回</p> <p>4 回</p> | <p>天空劇場</p> <p>昭和の家、</p> <p>石洞美術館、</p> <p>六町ミュージアムフローラ、</p> <p>わたなべ音楽堂</p> |

*リンク：つながり

| | | | |
|-------------------|--|----------|-------|
| (3) 生涯学習啓発 | | 当初予算額 | |
| | | 1,374 千円 | |
| 目的及び概要 | <p>文化芸術に触れる機会の少ない区民に向けて、アウトリーチ*等の手法を用いて事業を展開する。</p> <p>「小学校アウトリーチコンサート」は、区内小学校の低学年を対象に、プロの演奏家を起用して、本物の芸術を間近で体験させる。音楽の素晴らしさ、楽しさを通じて感性を養い、子どもたちの将来の可能性へとつながる機会を提供する。</p> | | |
| 平成 29 年度の予定 | | | |
| 内 容 | 実施時期 | 実施回数・校 | 実施場所 |
| 【1】小学校アウトリーチコンサート | 9～3月 | 14回・5校 | 区内小学校 |

*アウトリーチ：地域へ出張して行う活動

| | | | |
|-------------------------------|--|----------|-----------------------|
| (4) 学習情報提供 | | 当初予算額 | |
| | | 6,943 千円 | |
| 目的及び概要 | <p>生涯学習の推進を図るため、公社の概要や事業案内を広く区民に情報発信する。</p> <p>公社ニュース「ときめき」では、講座募集記事や「あだち放課後子ども教室」関連情報等を発信する。「公社ホームページ」では、公社概要や事業案内、講座レポートなどの情報を提供し、公社を広くPRする。</p> <p>放課後子ども教室について保護者の理解を深めるため、昨年に引き続き「あだち放課後子ども教室利用案内」を作成し、児童の登録申込み時に配布する。また、安全管理員や体験プログラムのボランティアを募集・勧誘する際に配布する「募集案内」を作成する。</p> | | |
| 平成 29 年度の予定 | | | |
| 内 容 | 実施時期 | 実施回数 | 実施場所 |
| 【1】公社ニュース「ときめき」への自主事業等情報発信 | 毎月1日 | 12回 | 区内全戸配布他 (310,000部) |
| 【2】公社ホームページによる情報提供事業 | 通年 | 随時 | |
| 【3】「あだち放課後子ども教室利用案内」の配布 | 通年 | 随時 | 児童の保護者等 (13,000部) |
| 【4】「あだち放課後子ども教室ボランティア募集案内」の配布 | 通年 | 随時 | 区内小学校、町会等 (3,000部) |

2 生涯学習の人材育成に関する事業

(定款第4条第1項第2号事業)【公益目的事業】

| | | |
|----------------|--|---------|
| (1) 地域学習活動人材育成 | | 当初予算額 |
| ①安全管理員等地域人材育成 | | 1,343千円 |
| ②文化団体等地域人材育成 | | |
| 目的 | <p>「あだち放課後子ども教室」や地域における子どもたちの体験交流活動を推進するために、地域学習活動にかかわる人材を発掘・育成し、活用する。</p> <p>また、文化面においても、地域の演奏家等のアウトリーチ技術の向上を図るとともに、区内のアーティスト等が交流することによる新たな区民文化の創出と、地域の文化芸術の振興および向上を図る。</p> | |

| | | |
|--|--|-----------|
| ① 安全管理員等地域人材育成 | | 当初予算額 |
| | | 808千円 |
| 概要 | <p>「安全管理員研修会」は、『放課後+One』を実施する上で参考となる事例の紹介や、子どもとの接し方に関する講義、さらに危機管理に関する情報提供等を織り交ぜて、コース別に実施し、必要な専門知識と技術の習得を図る。</p> <p>また、子どもの体験・交流活動に関わる地域人材を育成・活用する「あだちこどもサポーター養成講座」を開催するとともに、講座修了者に対する「スキルアップ講座」などの機会を通じ、活動の支援を行っていく。</p> | |
| 平成29年度の予定 | | |
| 内 容 | 実施時期 | 実施回数 |
| 【1】安全管理員研修会・3コース (『放課後+One』の事例紹介、 子どもとの接し方、危機管理など) | 7～10月 | 6回 |
| 【2】あだちこどもサポーター育成・支援 | | |
| (1)サポーター養成講座 (読み語り、おりがみ、遊びなど) | 5～12月 | 4回 |
| (2)スキルアップ講座(技術向上) | 6月、11月 | 2回 |
| (3)フォロー講座(活動啓発) | 11～2月 | 2回 |
| (4)サポーター活動支援(活動調整) | 通年 | 200回 |
| (5)ネットワーク支援(情報交換) | 不定期 | 5回 |
| | | 生涯学習センター他 |
| | | 生涯学習センター |
| | | 生涯学習センター |
| | | 区内小学校 |
| | | 生涯学習センター他 |

| | | | | |
|--------------|---|-------|--------|-----------|
| ②文化団体等地域人材育成 | | 当初予算額 | | |
| | | 535千円 | | |
| 概要 | <p>「実践！音楽アウトリーチ講座」は、演奏家もしくは、地域のイベント等の企画に携わっている方を対象に、アウトリーチの知識及び技術向上と文化芸術にかかわる人材を育成するために開催する。</p> <p>「あだちアートリンクカフェ」は、主として足立区で文化芸術に関わる活動家・研究者・学識経験者、演奏家、パフォーマーなどを対象に、様々な立場や役割を越えた相互の情報交換と交流により、新しい区民文化の創出をめざす。</p> <p>「あだちアートリンクカフェ公開講座」は、区内の文化芸術に興味のある方たちが参加できるよう一般公開として実施する。区民の文化芸術に関する意識の向上と相互交流の場とする。</p> | | | |
| | 平成 29 年度の予定 | | | |
| | 内 容 | 実施時期 | 実施回数 | 実施場所 |
| | 【1】実践！音楽アウトリーチ講座 | 4月 | 1回・2日間 | 竹の塚センター |
| | 【2】あだちアートリンクカフェ | 通年 | 6回 | 東京芸術センター他 |
| | 【3】あだちアートリンクカフェ公開講座 | 通年 | 1回 | 生涯学習センター |

3 生涯学習の活動支援に関する事業

(定款第4条第1項第3号事業)【公益目的事業】

| | | |
|--|---|-------|
| (1) 地域学習・団体活動支援 ①地域学習支援 ②文化団体等支援 | | 当初予算額 |
| | | 624千円 |
| 目的 | 区民が地域課題や現代的課題について、主体的に考え、学びあう機会を創出し、学習活動の充実と支援を図る。また、自主的な文化活動を行う区民や地域の芸術家および団体と演奏会等を共催し、地域の文化振興に寄与する。 | |

| | | |
|---------------------|---|-------|
| ①地域学習支援 | | 当初予算額 |
| | | 300千円 |
| 概要 | 区民が健康づくり活動や地域活動に活かせる学びの機会を提供する。講座の企画段階から、専門性に優れた各種機関や区内大学と連携を取り、学習のテーマ設定や講師選定など学習内容の充実を図り、区民の学習活動を支援していく。 | |
| 平成29年度の予定 | | |
| 内 容 | 実施時期 | 実施回数 |
| 【1】健康づくり・スポーツ活動支援講座 | 7~2月 | 2回 |
| 【2】地域活動支援講座 | 8~12月 | 2回 |
| 【3】地域学習コーディネート事業 | 通年 | 随時 |
| 実施場所 | 生涯学習センター 生涯学習センター 区内各所 | |

| | | |
|-----------------------|---|-------|
| ②文化団体等支援 | | 当初予算額 |
| | | 324千円 |
| 概要 | 足立ジュニア吹奏楽団の演奏活動を支援するため、地域からの出張演奏依頼に伴う楽器運搬費を支出する。 「歓喜の演」「足立区音楽祭」「ブリランテコンサート」「足立吹奏楽団定期演奏会」については、区の文化振興のため、各団体からの申請により公社共催事業とし、支援、助言等を行う。「イベントコーディネート」は、区・民間・地域からの企画相談に対応する窓口として、演者の紹介や地域の文化事業について助言・提案等の支援を行う。 | |
| 平成29年度の予定 | | |
| 内 容 | 実施時期 | 実施回数 |
| 【1】足立ジュニア吹奏楽団派遣演奏支援事業 | 通年 | 2回 |
| 【2】歓喜の演(狂言、合唱) | 通年 | 2回 |
| 【3】足立区音楽祭 | 9月 | 1回 |
| 【4】ブリランテコンサート | 7月、12月 | 2回 |
| 【5】足立吹奏楽団定期演奏会 | 6月、2月 | 2回 |
| 【6】イベントコーディネート | 通年 | 随時 |
| 実施場所 | 区内各所 西新井文化ホール他 西新井文化ホール他 西新井文化ホール他 区内各所 | |

4 足立区から受託する生涯学習に関する事業

(定款第4条第1項第5号事業)【公益目的事業】

| | | | | |
|-------------------|--|------------|--------|-----------|
| (1) あだち放課後子ども教室支援 | | 当初予算額 | | |
| | | 223,833 千円 | | |
| 目的及び概要 | <p>区からの委託事業「あだち放課後子ども教室事業」について、次のとおり支援する。</p> <p>(1)放課後の児童の安全で安心な居場所を提供するため、各放課後子ども教室の運営支援と実施内容の平準化を進め、安定運営の継続に努める。</p> <p>(2)安全管理体制の整備や活動場所の調整など各校の課題について、実行委員会や学校と協議し、全学年実施校の拡大に取り組む。</p> <p>(3)各校の実行委員会が実施する『放課後+One』の支援や、公社からのプログラムの提案等を行い、体験活動の充実を図る。</p> <p>(4)学童保育室及び学校との情報連絡会を支援し、相互理解や情報共有を通じて、両事業の円滑な運営につなげる。</p> <p>(5)安全管理講習会は、安全管理員が事故防止や応急手当の方法を習得するため、全校及び新任対象に毎年実施している。熱中症対策を学ぶため、夏休み前までに全校で実施する。</p> <p>(6)運営委員会は、全校の実行委員長、小学校校長会及び関係団体の代表が、事業の課題に関する検討や評価などを行う場として実施する。</p> <p>ブロック会議は、小学校13ブロックの地域ごとの運営委員会として開催し、各校の実行委員長と校長が情報交換や課題の協議を行う。</p> | | | |
| | 平成 29 年度の予定 | | | |
| | 内 容 | 実施時期 | 実施回数・校 | 実施場所 |
| | 【1】あだち放課後子ども教室の支援 | 通年 | 随時 | 区内各小学校 |
| | 【2】安全管理講習会(応急手当実技) | | | |
| | (1)安全管理講習会(全校実施) | 4~7月 | 69校 | 区内各小学校 |
| | (2)安全管理講習会(新任対象) | 9~3月 | 3回 | 生涯学習センター他 |
| | 【3】運営委員会の支援 | | | |
| | (1)運営委員会(全体会) | 1月 | 1回 | 生涯学習センター |
| | (2)ブロック会議 | 11月 | 13回 | 区内各小学校他 |

| | | | |
|---------------------------|--|----------|----------------------------------|
| (2) 足立ジュニア吹奏楽団支援 | | 当初予算額 | |
| | | 4,730 千円 | |
| 目的及び概要 | 区から委託を受け、音楽を愛好する情操豊かな児童を育成する「足立ジュニア吹奏楽団」の支援事業を実施する。公社は、所管する区の方針に則り、区内4～6年生の希望者を対象に週2回の練習を行い、定期演奏会をはじめ、区内のイベント等への出演を調整し、演奏活動の支援を行うとともに、団員保護者による「友の会」の運営支援を行う。 | | |
| 平成29年度の予定 | | | |
| 内 容 | 実施時期 | 実施回数 | 実施場所 |
| 【1】楽団及び楽団友の会の運営支援、演奏活動の支援 | 通年 | — | 練習（島根小）、定期演奏会（区内）、その他区内外での派遣演奏会場 |

| | | | |
|--|---|--------|-----------|
| (3) 体力向上支援人材育成 | | 当初予算額 | |
| | | 234 千円 | |
| 目的及び概要 | 区から委託を受け、楽しく体を動かしながらスムーズな動きを身に付ける“運動あそび”に着目し、その効果についての理解を深め、区民の体力・運動機能を向上するプログラム展開ができるスポーツ指導者の育成を図る。 講習会では、子どもや高齢者の活動に関わる地域スポーツ指導者、保育・学校体育に携わる方等に、コーディネーショントレーニング*の理論と実践プログラムを学ぶ機会を提供し、指導力の向上を目指す。 | | |
| 平成29年度の予定 | | | |
| 内 容 | 実施時期 | 実施回数 | 実施場所 |
| 【1】スポーツ指導者スキルアップ講習会 (1)運動機能向上のためのトレーニング (高齢者指導コース) | 4月、11月 | 4回 | 生涯学習センター他 |
| (2)運動あそびと体力向上トレーニング (子ども指導コース) | 6月、12月 | 4回 | 生涯学習センター他 |

*コーディネーショントレーニング：身体と脳・神経系統のバランスの良い発育を促し、運動の習得効果を高めるためのトレーニング方法

【1～4 公益目的事業に対する人件費】

| | | | |
|---------------------|---------------------------------|------------|------|
| 公益目的事業に対する人件費 | | 当初予算額 | |
| | | 256,200 千円 | |
| 目的及び概要 | 定款第4条第1項事業である公益目的事業を実施する職員の人件費。 | | |
| 平成29年度の予定 | | | |
| 内 容 | 実施時期 | 実施回数 | 実施場所 |
| 【1】公益目的事業に従事する職員人件費 | 通年 | — | — |

5 その他前号に定める事業に関連する事業

(定款第4条第2項第4号事業)【法人会計】

| | | | |
|------------------------------|---|-----------|-------|
| (1) 公益財団法人の経営管理、組織・人事管理、財務運営 | | 当初予算額 | |
| | | 51,777 千円 | |
| 目的及び概要 | 公益財団法人足立区生涯学習振興公社を運営するために、公益法人として不可欠な理事会や評議員会の開催及び庶務事務を行う。また、自主事業を安定して継続するために、基本財産等の安全確実な資産運用を行う。 | | |
| 平成29年度の予定 | | | |
| 内 容 | 実施時期 | 実施回数 | 実施場所 |
| 【1】公益財団法人の管理・運営 | 通年 | — | 公社事務局 |
| 【2】基本財産等の管理及び運用 | 通年 | | |
| 【3】理事会及び評議員会の開催 | 5月、11月、 2月 | | |

公 社 概 要

公益財団法人足立区生涯学習振興公社

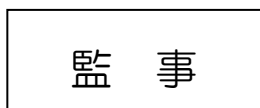
| | |
|----------------|---|
| 設 立 | 平成5年2月1日（平成12年4月1日名称変更） |
| 公 益 認 定 | 平成21年10月1日公益財団法人 |
| 基 本 財 産 | 15億円 |
| 代 表 者 | 理事長 亀村 精一 |
| 職 員 数 | 42名（定数） 常勤29名（派遣7名、固有22名） 非常勤13名 |
| 住 所 | 〒120-0034 東京都足立区千住五丁目13番5号 学びピア21 |
| ホームページ アドレス | http://www.kousya.jp/tokimeki/ |

組 織 図

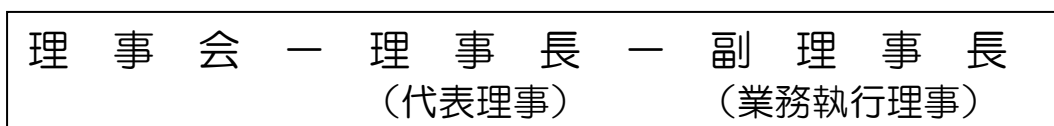
（決 議 機 関）



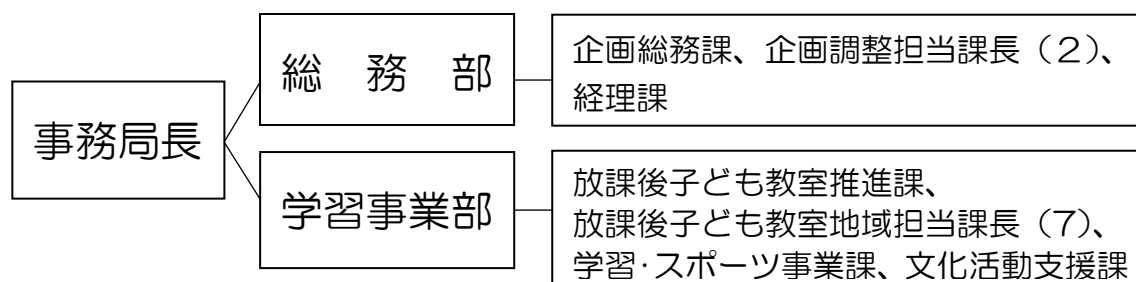
（監 査 機 関）



（執 行 機 関）



（事 務 局）



公益財団法人足立区生涯学習振興公社

平成 29 年度 事業計画書

作成 公益財団法人足立区生涯学習振興公社

総務部 電話 03-5813-3724